

カーボンニュートラルを実現する、夢のエネルギー源。  
環境メガトレンド投資の大本命

ワンポイント  
One Point

# 水素

nikko am  
Nikko Asset Management

vol.5

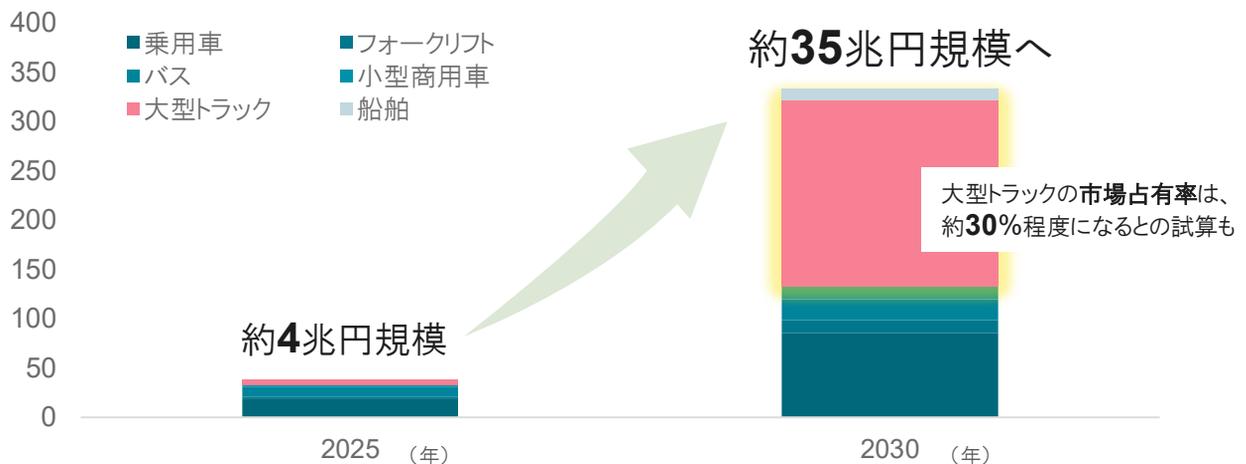
## 拡大が予想される「燃料電池モビリティ」市場

燃料電池で発電した電気でモーターを回して走る、「燃料電池モビリティ」への期待が高まっています。走行時に排出するのは水だけという、クリーンなモビリティです。「燃料電池自動車(FCV)」は1度の補給で850kmの走行が可能（電気自動車(EV)は最長で300km程度）で、足元では4大都市圏を中心に「水素ステーション」の整備も進みつつあり、普及の下地が整いつつあります。

米国では「燃料電池フォークリフト」の普及が急速に進んでおり、今後はバスやトラックといった大型車、さらには電車や船舶、航空機への利活用が期待されています。とくに、長距離走行が可能で、迅速な燃料補給が可能などといった特性から、「燃料電池大型トラック」市場の拡大が予想されています。

### ■燃料電池モビリティ分野ごとの年間売上高の予想

(10億米ドル)



※日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドの見通しをもとに日興アセットマネジメントが作成  
※上記は予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。